

IV 厳冬期の消毒

1 農場出入口の消毒



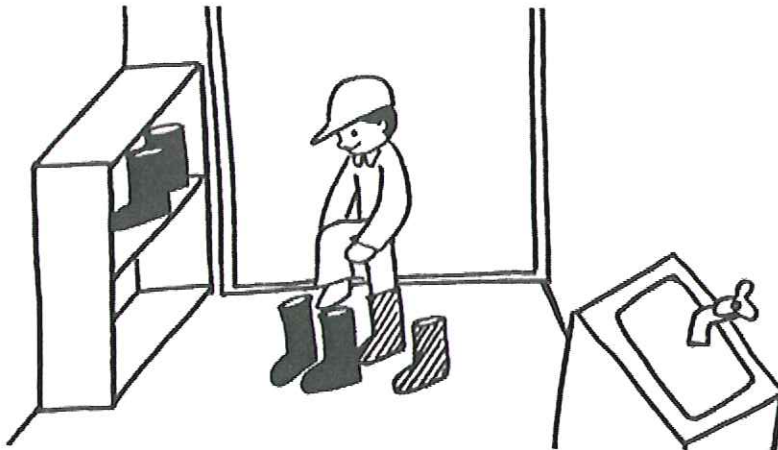
消石灰は乾燥した場所で使用すると一週間以上効果（pH12以上）は持続しますが、水に濡れた後乾燥するとpHは低下し消毒効果が薄れます。除雪後に散布をしましょう。

※車両が通行する場所に1m²当たり1kgを目安に、ホウキ等で均一に散布しましょう。また、消石灰を散布する幅は3m以上にしましょう。

※取扱上の注意

散布時は、直接、皮膚・口・呼吸器等に付着しないよう、マスク、メガネ（ゴーグル）、ゴム手袋等を着用してください。

2 畜舎出入口の消毒



従来どおりビルコンSやクレンテを使用する場合は凍結防止のため畜舎内側に踏み込み消毒槽を設置しましょう。踏み込み消毒槽の中にふたを浮かべることにより、ある程度凍結防止の効果があります。また、消石灰が靴底に万遍なく付く量をバットに入れて使用する方法もあります。

冬季は畜舎出入口の消毒液が凍結するため、畜舎毎に専用の長靴を使用することも大変効果的な方法です。

<参考> 消毒液にウォッシャー液を添加することによる凍結防止効果

ビルコンS（500倍希釈）の場合

水+ウォッシャー液(1:1)混合	半凍結	pH 2.0 (酸性)
ウォッシャー液のみ	凍結無	pH 2.3 (酸性)

クエン酸(0.2%)の場合

水+ウォッシャー液(1:1)混合	半凍結	pH 2.4 (酸性)
ウォッシャー液のみ	凍結無	pH 2.6 (酸性)

炭酸ソーダ（4%）の場合

水+ウォッシャー液(1:1)混合	凍結	pH 10.6 (アルカリ性)
ウォッシャー液のみ	半凍結	pH 10.5 (アルカリ性)